

(様式4)

校 種	① ・ 中 どちらかに○	学校番号	9	学校名	宇都宮市立 陽 南 小学校
-----	-----------------	------	---	-----	---------------

平成28年度 健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

1 健康（保健安全・食育）・体力に関する主な実態

(1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

- ・ 「裸眼視力1.0未満」の者の割合は32.2%であり、県の割合よりも5.0ポイント高い。特に「裸眼視力0.3未満」の者の割合が県の割合よりも高い。視力低下は学年が進むにつれ増加する傾向にある。
- ・ 「むし歯（う歯）」のある者の割合は44.2%であり、県の割合よりも10.3ポイント低い。また、6年生の1人当たりの平均むし歯（う歯）数は0.26本であり、県平均の1.0本より少ない。
- ・ 体力については、新体力テストの本校の結果を県と比較すると、学年によって違いはあるが、男女とも長座体前屈がおおむね優れている。一方、男女とも反復横跳び・シャトルランが劣っている。

(2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び学習と生活についてのアンケートから

- ・ 「運動やスポーツをすることは好きか」の質問に肯定的回答をした児童の割合のうち、男子はどの学年もほぼ90%に達しており、学校全体でも90%に達する。女子は6年が75%と学年が上がるにつれて肯定的回答をする児童が減少傾向にある。
- ・ 「休み時間や放課後、休日に自分から進んで運動するようにしているか」の質問に肯定的回答をした児童の割合のうち、男子は、2・6年生が80%をこえた。それ以外の学年は80%を下回り、特に4年男子が54%と低かった。女子はどの学年も80%に満たなかった。特に3年女子は、41%と低かった。一部の学年との間に極端な差がある。
- ・ 学校に登校する日の就寝時刻が10時過ぎの児童は学校全体の16.7%である。高学年ほど寝るのが遅い児童の割合が高い。
- ・ 毎日排便している児童の割合は、学校全体の約半数である。その一方で、排便が1週間に1～2回または1週間以上出ていない児童が学校全体で15%以上いる。
- ・ 「朝食を毎日食べているか」の質問の肯定割合は90%であるが、生活習慣の乱れから「時間がない」「食欲がない」等の理由が多い。
- ・ 「好ききらいをしないで食べている」「食事のマナーに関心がある」の質問には、学年が上がるにつれ、ポイントが高くなる傾向である。嫌いなものを頑張って食べる児童が増えてきた。
- ・ 「安全について」のアンケートでは、交通ルールを守っている児童はどの学年も93%を超え、肯定的割合が高い。不審者から自分の安全を守ることにについては、どの学年も肯定的割合が90%を超えるが、市の平均よりも1年生（-3.1%）、3年生（-4.2%）、5年生（-3.4%）が大きく下回っている。

(3) 授業や体育的行事等への取組状況から

- ・ 体育の授業を好む児童が多く、全校共通の検定表に沿って、自己の目標に向かって意欲的に運動することができる。
- ・ ボール運動のようなゲーム的要素を伴う活動には意欲的に取り組むが、器械運動のように根気強く取り組まないと成果が出ない活動においては、あきらめの早い児童や怖がる児童が多い。
- ・ 運動会やドッジボール大会、宇都宮元気っ子プロジェクトなどを利用した体育的行事に全力で取り組むことにより、友達と力を合わせることの達成感を得る児童が多い。

2 今年度の重点目標（地域学校園内で共通する重点目標は、文頭に○または該当箇所に下線）

自ら進んで心と体の健康づくりに取り組む児童の育成

－自分の力に合った目標をもち、主体的に運動する児童・

自分の体に関心を持ち、自ら健康な生活ができる児童をめざして－

3 今年度の取組

(地域学校園内で共通する取組は文頭に○、「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆)

(1) 望ましい食習慣の育成

- ☆ バランスの良い食事と健康について理解させ朝食抜き0を目指す。(通年)
- ☆ 各学級に食育コーナーを設け、食事のマナーや栄養素などについての意識を高める。(通年)
- ☆ 給食委員会の活動でリクエスト給食や食事マナー体験活動の充実
- ☆ 教科等及び給食時における食に関する指導を栄養教諭の参加を取り入れ計画的に実施
- お弁当の日の実施(12月)
 - ・ 個別の症状に応じた食物アレルギー食への対応

(2) 健康・体力の向上

- ☆ 児童の自己管理能力を高めるための健康観察を実施する。(通年)
 - ☆ 学校薬剤師と連携によるアレルギー研修会を実施する。(7月夏休み)
 - ☆ 養護教諭の参加を取り入れた保健学習や学級活動における保健指導を実施する。
 - ☆ 自分の健康問題に気づき、生活を見直す態度を培うためのからだの学習(ミニ保健指導)を実施する。
 - C0(要観察歯)やG0(歯周疾患要観察者)に対するグループ指導を実施する。(6月)
 - ☆ 元気っ子健康体力チェック(新体力テスト)の結果をふまえた教科体育における補強運動の継続
持久力→8の字跳び、短縄持久跳び、○分間走、鬼ごっこ、など。
 - ☆ ミニマム達成に向け、運動プログラム集の有効活用
 - ・ 運動量豊富な教科体育の実践
 - ・ 各種検定の実施(水泳6~9月 なわとび12月~2月)
 - ☆ なわとび検定の見直し、なわとびチャレンジランキングの実施(10月~2月)
 - ☆ 運動委員会主催のスポーツ大会(ドッジボール大会)の実施(11月~12月)
 - ・ 学級やグループでの体力づくり(「うつのみや元気っ子チャレンジ」)の奨励
 - ☆ 通学路点検の実施(通学路の危険箇所を児童と一緒に確かめながらの下校)
 - ☆ 不審者対策として、必要に応じて学年下校時に途中まで児童を引率する。
 - ☆ 避難訓練を実施し、校内での災害を想定しながら避難経路の確認をする。(年4回)
- #### (3) 家庭・地域・関係機関との連携協力
- ・ 食育だより・保健だよりで児童の心と体の健康についての保護者の意識を高める。(毎月)
 - ・ 給食の時間の児童の様子を学年だよりで伝え、家庭との連携を強化する。
 - ☆ 薬物乱用防止教室を実施する。(6年生)
 - ☆ 学校薬剤師と連携による5年喫煙防止教育及び6年薬教育の授業を実施する。(11月)(1月)
 - ☆ 家庭と学校が健康課題について一緒に学び考える場としての学校保健給食委員会を実施する。(12月)
 - ☆ 新体力テストの結果を通知する。
 - ・ 各種検定の内容や結果について、学年だより等を活用して保護者への周知を図る。
 - ☆ 保護者・生活指導部と連携した一斉下校を実施し、毎週水曜日に立哨当番の保護者の見守る中を安全に班で下校する。(通年)
 - ☆ 警察スクールサポーターや関係機関などと連携し、防犯教室と避難訓練を実施する。
 - ・ 消防署等と連携して、保護者・教師対象の心肺蘇生法並びにAED操作講習会を実施する。(6月)
 - ・ 宇都宮市生活安心課の「子ども自転車免許事業」による自転車教室を実施する。(4年生)